

II 令和2年度事業実施状況

食品の安全・安心への関心が高まる中、更に、畜産経営の大規模化、豚熱及び口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生や海外からの家畜伝染病侵入の危険性が増大する等、畜産情勢が変化する中で、安全な畜産物の供給と畜産経営の安定を図るためには、家畜衛生対策を適切かつ円滑に推進することが重要である。

家畜保健衛生所では、家畜伝染病の発生予防と家畜疾病による損耗を防止するための予防衛生対策を講じるとともに、生産段階における家畜の飼養衛生管理基準遵守の徹底を推進するなど、状況の変化に的確に対応しながら各種事業を実施している。

1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号 以下「予防法」）の規定に基づき、家畜伝染病及び家畜伝染性疾病の発生とまん延を防止し、家畜飼養者をはじめ、獣医師、市町、関係団体等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

(1) 主な検査と対象家畜

予防法第5条の規定に基づく発生予防又は発生予察のため、主に以下の検査を実施した。

ア ヨーネ病

(ア) 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育している牛及びその同居牛

(イ) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育している肉用雌牛

イ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

100羽以上鶏を飼養している農場のうち、家畜保健衛生所長が選定した農場で飼養されている鶏

ウ 腐蛆病

管内に飼育されている蜜蜂であって、家畜保健衛生所長が必要と認める蜜蜂

エ 牛のアカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、イバラキ病及び牛流行熱

未越夏でワクチンを接種していない牛

その他、公共牧場に放牧された乳用牛に対する定期的な衛生検査(臨床検査、血液検査、寄生虫検査、牛体消毒等)、養豚場の清浄度を確認・維持するための豚熱、オーエスキー病等の検査、監視伝染病の疑いのある家畜及び不明疾病に対する病性鑑定等を実施した。

(2) 主な検診・検査等の概要

事業名	区分	実績 (頭羽群数)	検査結果(頭羽群数)			備考
			陰性	疑陽性	陽性	
検診・検査	牛のブルセラ症	18	18	0	0	告示 9頭 告示外 9頭
	牛の結核	78	78	0	0	告示 9頭 告示外 68頭
	牛のヨーネ病	18,698	18,691	0	7	告示 9,634頭 告示外 9,064頭
	ピロプラズマ症	1,591	1,578	0	13	放牧予定牛 1,115頭 放牧牛 476頭
	EBL (牛伝染性リンパ腫)	7,762	5,139	0	2,623	抗体検査 6,995頭 遺伝子検査 767頭
	牛ウイルス性下痢(BVD)	19,821	19,782	0	39	重複含む
	牛流行熱等検査	108	108	0	0	告示 108頭
	牛伝染性疾病検査	200,139	200,139	0	0	延べ頭数
	牛海綿状脳症(採材業務)	576	576	0	0	告示(県内牛) 567頭 告示外(県内牛) 9頭
	馬伝染性貧血	10	10	0	0	
	馬伝染性子宮炎	1	1	0	0	
	馬パラチフス	0	0	0	0	
	馬伝染性疾病検査	394	394	0	0	
	豚熱	2723	218	95	2410	免疫付与状況確認検査
	オーエスキー病	992	992	0	0	
	PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群)	1,253	490	0	763	
	豚流行性下痢	60	60	0	0	
	豚伝染性疾病検査	1,168,379	1,168,379	0	0	
	高病原性鳥インフルエンザ 低病原性鳥インフルエンザ	540	540	0	0	告示 430羽 告示外 110羽
	家きんサルモネラ症検査	118	118	0	0	告示 118羽
鶏伝染性疾病検査	2,363,364	2,363,364	0	0		
腐蛆病	929	929	0	0	告示 802群 告示外 127群	
その他	着地検査	牛2件141頭 馬4件11頭	牛141 馬11	0 0	0 0	

(3) 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査

ア 乳用繁殖雌牛のヨーネ病検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

同居の肉用繁殖雌牛も同時に実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	7	67	1	1	1	77
検査頭数						
乳用牛	271	6,930	173	44	61	7479
肉用牛	12	109	0	0	0	121

【検査成績】1頭ヨーネ病陽性

※肉用牛農場で飼養されている乳用牛

イ 肉用繁殖雌牛のヨーネ病検査（酪農家の飼養牛を除く）

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	0	0	0	66	0	66
検査頭数	0	0	0	976	0	976

【検査成績】全頭陰性

ウ 放牧予定牛のヨーネ病検査

※公共牧場に入牧予定の乳用育成牛を検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	20	49	6	16	4	95
検査頭数	118	549	86	275	21	1,049

【検査成績】全頭陰性

エ 種畜（種雄牛）のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	1	0	0	1	0	2
検査頭数	6	0	0	3	0	9

【検査成績】全頭陰性

オ 死亡牛の牛海綿状脳症（BSE）検査（法第5条に基づく検査）

管内市町及び県内・種類別の搬入状況

市町	乳用牛		肉用牛		総計
	ホルスタイン	その他	黒毛和種	交雑種	
大田原市	28	1	15	1	45
那須塩原市	188	3	32	11	234
那須烏山市	8	0	5	0	13
那須町	25	3	25	0	53
那珂川町	8	0	4	1	13
管内合計	257	7	81	13	358
県内合計	374	9	170	14	567

【検査成績】全頭陰性

- ※当所は、附属検査施設で、栃木県全域の死亡牛の受付、検体採取・送付、死亡牛の一時保管及び陰性確認後の搬出作業を実施（月曜～金曜）。夏季のみ土曜・祝日受付・搬入のみ業者委託）
- ・ELISA検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施（原則採材2日後）

カ 牛流行熱等抗体調査

病名	戸数	頭数	6月		8月		9月		11月	
			<2	2≤	<2	2≤	<2	2≤	<2	2≤
アカバネ病	9	27	19	8	26	1	27	0	27	0
チュウザン病			27	0	27	0	27	0	27	0
アイウイルス感染症			27	0	27	0	27	0	27	0
イバラキ病			27	0	27	0	27	0	27	0
牛流行熱			27	0	27	0	27	0	27	0

※大田原市2戸、那須塩原市3戸、那須烏山市1戸、那須町2戸、那珂川町1戸

【検査成績】各疾病とも流行は認められなかった。

キ 蜜蜂の腐蛆病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	7	20	5	2	5	39
検査群数	100	495	89	26	92	802

【検査成績】全例陰性

ク 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

(ア) 定点モニタリング検査

毎月1回、管内の3農場において、6週齢以上の鶏10羽のウイルス分離検査と血清抗体検査を実施した（ウイルス分離検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施）。

対象農場	検査内容	検査成績
3戸 (大田原市[那須町]、 那須塩原市、那須烏山市)	ウイルス分離※ (気管スワブ、クロアカスワブ) 血清抗体検査	全例陰性

※3月の対象農場は、大田原市を那須町に変更

(イ) 強化モニタリング検査

10月から5月にかけて、管内7農場の鶏各10羽について、各農場1回血清抗体検査を実施した。

対象農場	検査成績
7戸 (大田原市2戸、那須塩原市1戸、 那須烏山市1戸、那須町1戸、那珂川町2戸)	全例陰性

(4) 家畜伝染病予防法第51条に基づく検査

ア 牛のヨーネ病検査

牛のヨーネ病防疫対策要領に基づくカテゴリⅡ農場において、清浄化推進のための検査を実施した。

対象農場戸数	検査頭数		検査成績
	抗体検査	リアルタイムPCR検査	
9戸 (大田原市1戸、那須塩原市7戸、那須町1戸)	4096	2197	6 頭患畜

清浄性が確認された農場：4戸（那須塩原市3戸、那須町1戸）

イ EBL（牛白血病）

抗体検査及び遺伝子検査により農場及び公共牧場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
抗体検査	6,928	1,953	4,975
遺伝子検査	767	636	131

ウ 牛ウイルス性下痢（BVD）

抗原・抗体検査及び遺伝子検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
中和抗体検査	395	205	190
ウイルス分離	643	40	603
遺伝子検査	3,152	40	3,112
抗原エライザ検査	3,660	26	3,634

(実頭数)

エ 豚熱（CSF）

清浄性の確認のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	検査成績
50	2,723	全例陰性

オ オーエスキー病

清浄化対策推進のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	野外抗体陽性頭数	野外抗体疑陽性頭数	野外抗体陰性頭数
23	992	0	0	992

カ PRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群）

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
33	1,253	490	763

キ PED（豚流行性下痢）

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
6	60	0	60

ク ニューカッスル病

抗体検査結果をもとに適切なワクチン接種を指導した。

戸数(延)	羽数	抗体陰性羽数	抗体陽性羽数
43	429	37	392

ケ 鳥マイコプラズマ症

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

病原体名	検査戸数(延)	検査羽数	陽性羽数	疑似羽数	陰性羽数
マイコプラズマ・ガリセプチカム	55	551	144	90	317
マイコプラズマ・ソルビエ			431	50	70

コ 施設園芸用蜜蜂の腐蛆病検査

イチゴハウスで受粉に利用される蜜蜂の検査を実施するとともに、飼養者に対し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査群数	検査成績
22戸 (那須烏山市2戸、那珂川町20戸)	107	全群陰性

(5) その他の検査

ア 放牧予定牛の検査

放牧場での伝染性疾病のまん延防止のため、放牧予定牛について各種検査を実施した。

病名	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
EBL(牛伝染性リンパ腫)	1,107	372	835
ピロプラズマ症	1,115	11	1,104
BVD	1,046	0	1,046

イ 放牧牛衛生検査

管内3か所の公共牧場において、定期的に放牧牛の衛生検査を行い、各種疾病の早期発見及び早期治療に努めた。

(ア) 放牧状況

区分	大田原市 大野放牧場		那須塩原市 八郎ヶ原放牧場	那須町共同利用模範牧場	
	乳用牛	和牛	乳用牛	乳用牛	乳用牛
種類				EBL陰性牧区	EBL陽性牧区
放牧期間	R2. 4. 14～ R2. 11. 4	R2. 5. 13～ R2. 11. 4	休牧中	R2. 5. 1～ R2. 10. 14	R2. 5. 12～ R2. 11. 8
放牧頭数	30	22	—	307	65
衛生検査回数	10	9	—	9	
主な疾病	—		—	真菌症 乳頭腫 趾間腐爛	
備考				周年預託牛あり	

(イ) 衛生検査検査成績

a ピロプラズマ病

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場	1/10	0/12	0/21	0/22	0/11	0/11	0/11
那須模範牧場		0/32	0/43	0/44	0/22	0/22	0/22

b 牛肺虫症

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場				0/11	0/10		
那須模範牧場					0/22		

ウ 家畜伝染病予防法第52条に基づく報告徴求

高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの発生予防に資するため、管内の家きん100羽以上(だちょうは10羽以上)を飼養する農場から毎月1回、1か月間の死亡羽数及び産卵率の報告を求めた。

ア 市町別の病性鑑定件数及び頭羽数

(総件数：延べ174件

総頭羽数：延べ373頭羽)

畜種	大田原市		那須塩原市		那須烏山市		那須町		那珂川町		計	
	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数
乳用牛	6	8	40	115	3	5	4	4	0	0	53	132
肉用牛	30	60	36	63	10	23	26	36	1	1	103	183
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	2	4	4	22	0	0	0	0	0	0	6	26
緬山羊	0	0	4	6	0	0	2	2	0	0	6	8
鶏	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14
その他*	0	0	2	5	0	0	3	5	0	0	5	10
計**	39	86	86	211	13	28	35	47	1	1	174	373

*その他：牛、馬、豚、緬山羊、鶏以外の家畜、又は環境材料 等

イ 市町別の病性鑑定検査材料別の検体数

(総検体数：471検体)

検査材料	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
糞便	29	85	25	26	1	166
死体及び生体	16	29	4	20	0	69
血液	27	115	21	8	0	171
その他*	38	21	0	6	0	65
計	110	250	50	60	1	471

*その他：鼻腔拭い液、敷料、環境ふきとり等

ウ 令和2年度に診断された主な感染症

下表に示すように、様々な疾病が確認されました。

畜種	症状	疾病名
牛	下痢症	牛ロタウイルス病、牛コロナウイルス病、牛トロウイルスによる下痢 クリプトスポリジウム症、牛コクシジウム病、消化管内線虫症
	呼吸器病	牛RSウイルス病、牛コロナウイルス病、牛パスツレラ症、牛マンヘミア症
	その他	牛伝染性リンパ腫、クロストリジウム属菌による突然死（悪性水腫、クロ トリジウム・パーフリンゲンス感染症）、大脳皮質壊死症
兎	その他	兎出血病

(下線は監視伝染病を示す)